

防 除 情 報

平成 16 年度病害虫発生予察 防除情報第 12 号

平成 16 年 10 月 29 日
長崎県病害虫防除所長

温州みかん 青かび病、緑かび病の防除対策について

現在、温州みかん園で樹上での青かび病、緑かび病の発生が多くなっています。今後、貯蔵・流通段階で青かび病、緑かび病による腐敗果実の多発生が懸念されますので、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1 発生状況

- (1) 10 月 20 日に本県に最接近した台風 23 号の影響で、傷害果が多発したと考えられる。
- (2) 10 月下旬の巡回調査において、樹上での青かび病、緑かび病の発生を多く確認している。

2 防除対策

- (1) 収穫時の傷から感染しやすいので、果実にハサミ傷等をつけないように丁寧に扱う。
- (2) 早生温州で、これまでに青かび病、緑かび病の防除を行っていない園では、収穫前日までに確実に薬剤を散布する。普通温州においても、収穫 3 週間前～1 週間前までに薬剤を散布する。
- (3) 使用薬剤は、トップジン M 水和剤とベフラン液剤の混用またはベンレート水和剤とベフラン液剤の混用で安定した高い防除効果が得られる。ただし、混用の際には、ベフラン液剤を必ず後に溶かす。
- (4) 薬剤散布の際には、十分量の薬液をかけむらがないよう散布する。
- (5) 薬剤の散布に当たっては、農薬の使用基準を遵守する。